

祇園御旅所ぎをんおたびしよは四條京極きやうごくの辻つじにあり、毎歲六月七日祇園會ぎをんゑの神輿かみこ三基さんき此所こゝに神幸かみゆきし給ひ、同十四日に祭礼まつりありて本殿ほんだんへ還幸かへりゆきし給ふ。兩日ふたひの山鉾やまぼこもみなく、此神前こゝを引渡ひきわたすなり。北きたの社は素盞鳴尊すさのをの八王子やちおうじを祭まつる、南みなみの社は少将井天皇せうしやうゐてんわうを祭まつる。初の二坐ふたざは大政所まんどころと号なづして、むかしは烏丸通からすまる五條坊門ばうもんの南みなみに御旅所おたびしよあり。「今大政所町いままんどころといふ」少将井せうしやうの一坐いちざは烏丸二條からすまるの北きたにあり。「今少将井町いませうしやうとなづく」三坐社さんざの〔天照大神てんせう、八幡宮はちまん、春日明神かすがを祭まつる〕官者殿くわんじやどの〔祭まつる所神秘しんぴ、世よに土佐坊正尊とさのぼうしやうそんの靈たまを祭まつるといふ大おほに非あらなり。又誓文ちかごゑ弘ひろの神かみとて、十月廿日じふににちの蛭子講むしこくわうに諸人しよじん群參ぐんさんす。實じつは日ひの神かみと素盞鳴尊すさのをの尊みことの中に立給たてたまひて誓文ちかごゑし給ふ神かみとぞ〕惡王子社あくわうじのやしろ〔御旅所おたびしよ北側きたがはにあり、祇園會ぎをんゑ神輿かみこ臨幸りんかうの時とき、烏丸通からすまる五條ごじょうの北きた惡王子町あくわうじより古例ふるれいによつて神供かみぐを備そなへる〕